

| | | | |
|----|-----|-----|--------|
| 教科 | 科 目 | 単位数 | 学年・クラス |
| 公民 | 倫理 | 2 | 3年2組 |

1 使用教材

| | |
|-------|-----------------------------|
| 使用教科書 | 高等学校 改訂版 倫理 |
| 出版社 | 第一学習社 |
| 副教材等 | 令和5年度版 倫理ワークブック |
| 出版社 | 愛媛県高等学校教育研究会地理歴史・公民部会地理歴史部門 |

2 学習の目標

| |
|--|
| 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としてのあり方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者とともに生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。 |
|--|

3 評価の規準・観点・方法

| 評価の観点 | 内 容 |
|------------|--|
| ① 関心・意欲・態度 | 人間尊重の精神と自己形成について関心を高め、人格の形成と生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲を持つとともに、これらに関わる諸課題を探究する態度を身につけ、人間としてのあり方生き方について自覚を深めようとする。 |
| ② 思考・判断・表現 | 生きる主体としての自己の確立について広く課題を見だし、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探究するとともに、良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現する。 |
| ③ 技能 | 青年期における自己形成や人間としてのあり方生き方などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択して、これらを自己形成に資するように活用し、学び方を身に付ける。 |
| ④ 知識・理解 | 青年期における自己形成や人間としてのあり方生き方などに関わる基本的な事柄を、生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けている。 |

| 観点 評価方法 | ① | ② | ③ | ④ | 備考 |
|------------|---|---|---|---|----------------------------|
| 授業の受講状況 | C | A | C | B | 授業内での発表やグループ活動での参加状況を含みます。 |
| レポート提出 | A | A | B | C | 倫理に関する自分の意見を表現することを含みます。 |
| ノート提出 | A | B | C | C | ノート提出を通じて、普段の学習状況を確認します。 |
| 定期考査 | B | B | C | A | 記述問題を含みます。 |

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

| 学期 | 学 習 内 容 | 学習のねらい |
|---------|---|---|
| 1 学期 | 第1章 青年期の課題と自己形成 第2章 人間としての自覚 ① ギリシャの思想 ② キリスト教 ③ イスラーム ④ 仏教 ⑤ 中国の思想 | 人間の特質について理解し、生きがいについて様々な視点から考え、今後の自分の生き方に生かす知識として身に付ける。 ギリシャの思想家のものの見方・考え方を理解する。 哲学や宗教の意義を考え、先人の生き方を手掛かりに、自分の生き方を考える。 世界で起きている宗教を原因とする争いを調べ、宗教とは何かについて考察する。 |
| 2 学期 | 第3章 国際社会に生きる日本人としての自覚 ① 日本の風土と伝統 ② 外来思想の受容 ③ 町人意識のめざめと庶民思想 ④ 西洋思想との出会い 第4章 現代に生きる人間の倫理 ① 現代の特質と倫理的課題 ② 人間の尊厳 ③ 近代の科学革命と自然観 ④ 自由で平等な社会の実現 ⑤ 人間性の回復と主体性の確立 ⑥ 生命への畏敬と社会奉仕 | 日本人の精神的特性が、日本の風土とどのように関連しているのかを考える。 日本の思想や文化に大きな影響を与えている仏教や儒教がどのように伝えられ、変容したかを把握する。 義理と人情の観念、国学が提唱した人間尊重の思想、現代に流れる庶民思想は、どのようなものかを理解する。 生命・環境・家族・情報・国際化などに関する問題を概観し、私達が取り組むべき倫理的課題について考える。 近代の科学はどのような背景から生まれてきたのかを理解する。 現代の思想は、それまでの思想からどのような影響を受けているかを理解する。 |
| 3 学期 | 第5章 現代の諸課題と倫理 ① 生命倫理と課題 ② 環境の問題と倫理課題 ③ 家族・地域社会と倫理課題 ④ 情報社会と倫理課題 ⑤ 宗教・文化と倫理課題 ⑥ 国際平和と人類の福祉 | 現代社会が抱える課題のうち幾つかを取り上げて、自ら調査し、まとめる作業を通して、望ましい解決の在り方について考える。 |